

横浜マラソン

商戦も熱気

ロゴ入り菓子／期間限定の切符

市民参加型フルマラソン「横浜マラソン2015」が15日に初開催となるのを前に、自治体や神奈川県内企業などにによる関連商品の発売やイベント開催が相次ぐ。菓子製造のありあけ(横浜市)は公式ロゴとイラストをあしらった限定商品を発売。横浜市と横浜高速鉄道は開催日と前日の2日間限定で利用できるお得な切符を14日まで売り出す。横浜観光にもつなげて経済効果を引き出す。



ありあけ(横浜市)の限定商品「横浜マラソンハーバー」

経済効果は70億円?

横浜マラソンに関連する商品・サービスやイベント

企業・団体名	商品・サービス・イベント
ありあけ	大会公式ロゴなどあしらった「ありあけ 横浜マラソンハーバー」
ミズノ	大会公式ロゴなどあしらった記念Tシャツやタオルなど
横浜市と横浜高速鉄道	お得な「横浜マラソン2015 応援きっぷ」
横浜高速鉄道	大会オリジナルデザインの1日乗車券
横浜マラソン組織委員会	13、14日に協賛企業などが出展する「横浜マラソンEXPO2015」開催
東京急行電鉄と横浜高速鉄道	15日早朝時間帯に臨時列車を運転

ありあけは、横浜を代表する土産菓子「ありあけハーバー」で5000個限定の商品販売を始め、商品のパッケージ、個包装を専用デザインとし、公式ロゴやイラスト、大会コースなどが入る。価格は5個入りで810円。沿道で応援する人への無料配布といったキャンペーンも展開する。

ミズノは大会公式ロゴをあしらったTシャツや帽子、タオルなど19種類を販売する。横浜の特徴である海や街をデザイン

横浜マラソンは、みなとみらい(MM)21地区をスタートし、横浜中華街や山下公園などを通るコースで、後半では首都高速道路も走る。林文字市長は「横浜の名所や見どころを網羅している」と話す。2万5000人のランナーが参加する。大会公式サポーターの

みらい線の全線が2日間乗り降り自由になる。大人1000円で、別々に購入するより1020円得になるという。

13、14日には協賛企業などを中心にスポーツや健康関連企業などが出展する展示会「横浜マラソンEXPO2015」もパシフィコ横浜(横浜市)で開かれる。入場料は無料だ。

マラソン大会は参加する人やその家族の宿泊・飲食など、素通りになりがちな観光旅行と比べて地元への経済効果が大きいといわれる。横浜マラ

ソン組織委員会事務局でもゴール後にシャワーを浴びたいなどの理由からレイトチェックアウトを希望する人が多い(担当者)。相鉄グループの横浜マラソンの経済効果は70億円規模に達する可能性がある。

ゴール地点に近い横浜ベイホテル東急(同)で売り出したところすぐに完売し、14日も満室という。

相鉄フレックス横浜桜木町(同)も大会参加者限定で30時間のロングステイができるプランを売